

認知症作業療法 活動報告（概要）

京都府作業療法士会の社会貢献局に位置付けられる認知症支援推進部（2021年8月現在〇〇名で構成）は、府民に対する認知症支援を軸とした直接的社会貢献事業に取り組んでいる。

認知症カフェ支援に関する京都府からの受託事業（2018年度～2021年度現在）

支援依頼の内容に応じて、府下の認知症カフェにアドバイザーを派遣し、認知症カフェの運営に関わる助言を行う「本人の活動を重視する認知症カフェ支援アドバイザー派遣事業」として2020年度は4カ所のカフェに、計35回、延べ68名を派遣。

2021年度は「本人の活動を重視する認知症カフェ開催支援事業（WITHコロナ）」として受託。

認知症を考える公開Webセミナー（全3回）

コロナ禍における社会貢献事業として開催。認知症当事者と仲間による講演と演奏、家族（認知症の人と家族の会）の講演、OTの実践報告。（詳細は2020年度の活動報告を参照）
全3回の受講者は159名（府内外の当事者家族、OT、PT、ST、保健師、看護師、社会福祉士）

認知症カフェの運営協力

受託事業に先行し、2013年より認知症カフェの運営に関与。2021年度は6カ所に、計23回、延べ28名を派遣。

各種連絡会・協議会への関与

当事者団体、医師会や行政、各支援機関などで構成されている団体へ部員の派遣を継続中。

認知症支援に関する会員の教育

教育部主催研修会へと移行し、研修内容や講師選定等を当部が主に行う形で試行中。

京都認知症カフェ連絡会への関与

世話人に部員1名を派遣。セミナー等の運営協力も継続

中・埼玉県作業療法士会との連携

2019年度より埼玉×京都の公式連携開始。
2020年度はオンラインを用いた合奏にも挑戦！
2021年度も研修会企画！

（公社）認知症の人と家族の会との連携

世界アルツハイマーデー（9月21日）に開催される京都タワーでのライトアップイベントの運営協力。



今後の展開

- ・ コロナ禍をはじめとした災害の中であっても展開できる認知症支援の実践継続
- ・ 京都市外のOTとの連携強化（Web会議の試行と実用化等）
- ・ （公社）認知症の人と家族の会との連携強化
- ・ 士会内の他部署や他士会との継続的連携
- ・ 各種依頼へのタイムリーかつ良質な対応のための体制強化

